

# Handsome

## CONTENTS ◆9月例会開催 ◆特集シリーズ 中央会スペシャル

●委員長副委員長交流会 ●45周年実行委員会開催 ●「中小企業団体全国大会in京都」 ●会長連載「Spur」

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 ◆編集責任者/担当 副会長 権田和志 ◆制作・編集 第44期広報委員会/委員長 恵比木 健

### 9月例会開催



平成30年9月14日(金)米子市文化ホールにて9月例会が開催された。冒頭、秋里会長より9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災者の皆様へのお見舞いが述べられた。また発電所の被災による被災地での停電に触れられ、自分たちが同じ状況になった時に生活できるだろうかと自身に置き換えて備える事の大切さを話された。また、9月に開催された委員長・副委員長交流会と京都で開催された中小企業団体全国大会の報告と感想を述べられ会長挨拶とされた。

続いて委員長タイムでは広報委員会恵比木委員長が「油のお話」と題し、石油業界について石油価格の決まり方から業界再編の経緯や現状などを分かりやすく解説された。また大手2社が合併した場合の新ロゴマーク予想では大胆な発想に笑いが起こった。



本例会は、企業経営において不可欠でありながら難解なイメージがある財務諸表について、その見方とポイントを分かりやすく学ぶことを目的に開催された。前半では「損益計算書」「貸借対照表」から見える各業種の財務上の特徴をもとに6つの財務諸表がどの業種のものかを当てるクイズ形式で進められた。各グループと

も活発な話し合いの中、楽しみながら答えを導き出していた。解答・解説の場面では、「飲食業では原価率と人件費を60%以下に抑えることが重要でそのためにはマネジメント力、スタッフのスキル向上、離職率を下げる必要がある」といった説明をはじめビジネスホテル業、広告代理店業などの各業界の利益構造や利益確保のために必要な対策、目指すべき企業構造まで解説され会場からは「なるほど」の声が多数挙がった。後半は、売り上げを作るために投資する対象が「人」か「物」かで財務諸表に特徴が現れることを踏まえ、利益構造が対極にある広告代理店業とパーキング業の

### 財務諸表への理解を深め経営に活かす



マッチングを例に、特徴の違う事業を組み合わせ現事業の弱みを補い新たな強みを作るための異業種への新規参入について解説された。まとめでは、事業を伸ばすためには「本業を伸ばす」「新規事業に参入する」の2つしかなく、そのためには自社の強み弱みを把握することがスタートでありその上で異業種への理解を深めることが重要だとまとめられた。最後に橋本副会長が「数字や専門用語にとらわれると難しい

が各業種をイメージすることで財務諸表も読みやすくなる。まずは財務にも興味を持って自社の事業発展に活かしてほしい」と総括され例会を締めくくった。本例会は財務という難しい題材でありながら、楽しく学べる趣向の凝らされた大変参考になる内容で、担当の中村委員長率いるビジネス経営委員会の事前勉強と思いが遺憾なく発揮された素晴らしい例会となった。

が各業種をイメージすることで財務諸表も読みやすくなる。まずは財務にも興味を持って自社の事業発展に活かしてほしい」と総括され例会を締めくくった。本例会は財務という難しい題材でありながら、楽しく学べる趣向の凝らされた大変参考になる内容で、担当の中村委員長率いるビジネス経営委員会の事前勉強と思いが遺憾なく発揮された素晴らしい例会となった。



(記事:福山)



### 9月例会を終えて



9月例会お疲れ様でした。そしてありがとうございました。  
難しい財務という分野でしたが、簡単にわかりやすく、そして楽しくできる例会にする為に、委員会メンバーと知恵を出し合い妥協なく作りました。当日は会員の皆様にご満足してもらえたと自負しております。  
財務の項目を単に学ぶのではなく、例会に参加することで活用の一歩目を体験をしてもらう事に重点を置きました。また、例会内容を資料として配布致しました。委員会メンバーが多く時間を投資し、内容の濃いものになっていますので、社員研修や振り返りとして活用してもらい、皆様のこれからのビジネス・経営の発展に繋げて頂ければ幸いです。

中村友紀 (株)サンイントウエイ 代表取締役社長)

# 中央会スペシャル



File.01

## 「5」周年記念事業へ向けての思い ～時を超えて繋がる者たち～

企画構成 青戸(リーダー)、石井、石原、上村、濱田

今期のハンサムでは『中央会スペシャル』と題して中央会活動の過去と未来にスポットを当てた特集シリーズを読者の皆様へお届けします。『過去を知り、新しきを取り入れ、未来を確立する』をテーマに、シリーズを通して未来の中央会活動のヒントになるような内容にしていきたいと考えておりますので、ご注目ください。

第44期 広報委員長 恵比木 健

45周年を控えた44期。今期と同じ周年事業の前年という24期・34期の会長は、周年に向けてどのような思いで活動を行っていたのかを知り、私たちの活動に役立てていきたいと思えます。またこれからの中央会への期待やアドバイスについてお話を伺ってきました。

そしてOBのお話を受けて、足立駿実行委員長に45周年に向けた思いを語っていただきました。

25周年記念事業では、「地域の合併」「ビジネスと交流」「環境問題」「21世紀の青年中央会のありかた」の4つの視点から4分科会を構成し25周年記念事業の場で「21世紀に向けた提言」の発表が行われました。

35周年記念事業では、【35周年記念協賛ゴルフコンペ】【白ネギ料理認定店御当地料理コンテスト】【記念式典・祝賀会】が行われました。



24期会長 宮廻 裕和OB  
(株式会社ライトスタッフ 取締役会長)

—24期には、分科会を立ち上げて活動をされていたようですが—  
当時の課題だったことをテーマとして4つの分科会にしました。16期に「どうする山陰」を公会堂で発表して、その流れを受けて地域合併の問題などをもう一度検証してみようというのがきっかけでした。この地域の将来像や社会的な問題に取り組んで、25周年の7月に発表してもらいました。しかし、振り返ると私は何もしてなかったかな。スローガンも考えたのは実行委員長だったし、土俵を作っておいて、周年の会長をその土俵に上げるのが目標でしたから。

—会員の意識は変わりましたか?—

結びつきが強くなりました。40代はまだ若いから、喧嘩があったり理不尽に怒られたりもしました。色々あったけどそれらも含め良い思い出だし、ひとつになるいい機会でした。中央会の良いところは固まるところ、ぜひ会員100名目指して頑張ってください。

—これからの中央会、現役会員に期待することやアドバイスをお願いします—

中央会は地元企業の集まりだし、行政と一緒にやっていけることを考えてもいいと思います。地域活性化、地方創生や少子高齢化問題など、何か一つ絡めてみてはどうでしょうか。

また、外に出ていく視点を持っていただくといいと思います。もちろん地域が一番大事ですが、今は時代の流れが早く、地元経済だけだと大変な時代になりました。県外海外に支店をもつとか、

業種によってはオフショアとか。我々が現役の時は地域内でビジネスをしようという意識が強く、そんな話一切出ませんでした。地域から全国、海外へと視点をむけてみたら何かとつながりがあるかもしれませんよ。



34期会長 水 康德OB  
(有限会社喜多川 専務取締役)

—水OBは29期に30周年記念事業委員会の委員長も務められていましたが、委員長の立場ではどうでしたか?—

私が入会した年に20周年があり、事業に感動したことが後の中央会活動のモチベーションになりました。30周年では、その20周年を超えたい、事業を通じて皆にも同じ感動や体験をしてもらいたいと思って取り組みました。23期に夢みなと博の中継をされた経験から、せっかくやるなら何か残そうと、会員にカメラマンをやってもらい、式典ビデオを作りました。限られたメンバーで進めたので、それぞれの役割が多くなりました。面倒なことはまわりが引き受けてくれて、望んでやってくれていたかは別ですが…皆に支えてもらったからできました。

—34期の会長を務められていたときはどのような思いでしたか?—

何かするにしても、これやりたい!というのがあってこそ形ができていくと思います。1年なんてあっという間で「何する?」から始めると1年では足りない。皆さんは40周年を経験されているからわかると思うけど、言い出しっぺがいないと進まない。「これしようや!」で走れば1年でなんとかできるくらいです。30周年の委員長のときはとにかく走って…終わった後に色々な

意見を頂いたから、34期のときは35周年に向けて1から議論を尽くしてみたいと考えて、検討委員会を立ち上げました。

### —45周年事業実行委員会、また現役会員にアドバイスをお願いします—

実行委員長や委員会メンバーがまわりをどう巻き込んでいくかだと思います。自社の従業員数が委員会人数より少ない人間

が、100人の人間を動かして自社の事業規模ではできないことを会の名前を借りてやるができる。中央会にいるからこそ経験できることです。なにより多くの才能を持った仲間がいる、仲間の力を活かすことが大切だと思います。やらない思い出には残りません。事業には参加したもん勝ちだと思います。

(記事:石井)

## 45周年事業実行委員会 足立 駿 実行委員長

45周年のスローガンは『繋ぐ～OB会員と現役会員で未来へ繋ぐ～』です。今の中央会の課題は何かと先輩方に相談しながら考えました。OBの方にも相談して。やはり危機的状況なのが会員の減少です。2年後には30人弱が卒会します。「数は力」ではないけど数がいないとより良いものはできないと思っています。この5年を振り返りながら、今後、我々がどうやって活動していくのか考えていきたいと思っています。

水OBのお話にも「事業をやるには目的が大事」とありましたが、周年事業は慣例的にやるものではなく、なぜやるのかを全会員に意識していただきたいと思っています。その目的を示すのが私

たちの委員会の役目です。

宮廻OBの話にも「時代の流れに合わせて視野を広く」とありました。以前、ユニクロの堂前宜夫さんの講演で「1千万人の顧客を集めるのに電話で30年、ラジオで10年、フェイスブックで1年、ポケモンGOで2週間」という話があったんです。「これだけ時代の流れが速い中、自分たちは何もしなくて良いの？時代の先を行って待っておかないと対応できないよ」という話で、まさにそうだと思います。

45周年は5周年なので、50周年に向けて軌道修正というか、これからの中央会の形を模索するための事業にしたいです。OB会員の皆様、現役会員に力を貸してください！現役会員の皆様、やれば必ず得る物があります。ぜひ積極的に参加してください！

### 広報副委員長 小谷の



## 委員長・副委員長交流会レポート

9月10日、鳥取県中小企業青年中央会主催の『委員長・副委員長交流会』が米子市公会堂で行われました。

始めに濱田県会長から「交流会は平成9年より続いており、それだけ意味のある事業。各地区の委員長、副委員長同士で大いに交流し今後の活動に活かしてほしい」とご挨拶がありました。

そして各地区の活動紹介の後、グループに分かれてディスカッションを行いました。委員長グループは『魅力ある中央会』、副委員長グループは『副委員長の役割』というテーマで議論し発表を行うという内容です。

私は東部の木村会員、原田会員、中部の向井会員と同じグループ。「ぶっちゃけた話をしましょう」ということで始めから議論も盛り上がり、本来のテーマを飛び越えて意見交換したり、楽しい時間になりました。熱い議論を交わした後は互いに打ち解けるのも早く、その後の懇親会でも話は弾み、最後はそれぞれ11月の県親睦事業での再会を約して別れました。

毎年行われる交流会ですが、参加してみるとやはり同じ立場の者同士、共感することも多く、今後につながる交流が出来るよい企画だと思います。準備して下さった県役員の皆さん、ありがとうございます。そして来年、めでたく委員長・副委員長に選ばれそうなあなた、予想以上に面白い事業ですので是非お楽しみに！！

(記事:小谷)



## 委員会活動紹介

ベテランと若手が一致団結！  
地域ビジョン委員会

副委員長 高田典宗  
(有)高田=取締役 管理部長)

我が地域ビジョン委員会は中央会を支えるベテランと次世代の中央会を担う若手が勢揃いの委員会です。

当初、委員会のメンバーを伺ったときに『意見がまとまるのだろうか』『(委員会の仕事を)これしてください、あれしてくださいって言いづらいなあ』と不安に感じていましたが、ビジネス経営委員会と共に水郷祭へ出店した際、ベテランの皆さんが進んでお店を切り盛りする姿に私の不安は一気に吹き飛び、団結力が深まったように感じました。また、中央会歴は短くとも人生経験豊富な会員や、役職を経験してこられた会員も所属しており、お世話になりっぱなしです。

当委員会は11月例会を担当させて頂きます。会場や内容など議論が白熱し何度も練り直しましたが、中央会の事業はこうやって仕上がっていくのだなあと感じました。5月のお地蔵さまフェスティバルを見据え、皆さん楽しんで頂ける例会にしようと思案中です！皆様、ご参加のほどよろしくお願いたします。

## 第1回 45周年事業実行委員会 開催

周年イヤーの本格的な幕開けとなる第1回 45周年事業実行委員会が9月20日(木)、米子コンベンションセンター 6階 第7会議室にて、多くの会員が集まった中、開催された。冒頭、秋里会長より「50周年につなげるためにも全会員で作り上げてもらいたい」、足立実行委員長より「45周年の概要を皆で共有してもらいたい」と挨拶があった。



続いて足立実行委員長より45周年事業企画案説明が行われ、スローガン「繋ぐ～OB会員と現役会員で未来へ繋ぐ～」が発表された。このスローガン・サブテーマは、現状の中央会の課題について委員会内で検討した結果、50周年、60周年と活動していくためにも、考え

を共にした仲間が必要との結論に至り決定したとの説明があった。

そして、式典及び祝賀会、記念基調講演、記念ゴルフコンペから成る3つの事業と、企画運営・財務部、映像部、提言部、記念誌部、記念ゴルフ部から成る5つの部の体制について説明があった後、各部に分かれて詳細な説明と、参加者からの質疑応答があった。各部ともに活発な意見交換がなされ、皆の45周年事業への意識の高さが伺えた実行委員会となった。

(記事:堀尾)

会長連載

# Spur ~シュプール~ 第44期 会長 秋里武信

# 軌跡

私が見た著書の中に、使命感についてこんな事が書かれていました。

### 「使命とは、命の使い方である」

人は皆、寿命という限られた時間の中を生きています。使命感とは、その限られた時間を何の為に使うのか、日々、自問自答しながら考え生きていく事だそうです。

私たちは、企業に属している以上、その限られた時間の大半を仕事に使います。また、家庭がある方は、家族の為にも使わなければなりません。しかしながら、忙しい日々を送る中にも必ず余った時間「プラスα」の時間があるはずだと思います。

何故ならば、中央会の活動は会員の皆様に作っていただいた、そのプラスαの時間で成り立っているからです。今期のスローガン「使命感」、是非とも、そのプラスαの時間の中で、自分自身に何が出来るのか？何をすべきか？という部分を見つめ直していただき、それぞれの“使命”を見出すきっかけにしていいただければと思います。

## 中央会野球部新OB送り出しの会

安達大貴 (株式会社ナリ)

平成30年9月9日、恒例となっている中央会野球部新OB送り出しの会が開催された。昼の部、夜の部と2部構成を予定していた会は、当日、あいにくの雨となり、昼の部で予定されていた送り出し試合は残念ながら中止となってしまった。夜の部は予定通り大連にて行われ、田中真紀子新OG、浜田貴稔新OBをはじめ、多数のOBにもご参加いただき、現役野球部員と交流を深めた。

そして、中央会野球部伝統となっている「衝立トーク」が繰り広げられ、一人ずつ中海テレビ放送杯に向けての豊富や中央会野球部の思い出を語り、年齢・会歴といった垣根を超え、笑いが絶えず、大いに盛り上がった。

平成最後となる新OB送り出し会を無事に終え、新OBお二人をお祝いすると共に、新メンバーも加わり、ますますの盛り上がりをめざす中央会野球部は、来たる中海テレビ放送杯に向け、2勝を目標に一致団結を誓った。



県専務理事  
堀尾の

## 『中小企業団体 全国大会in京都』 に行ってきました

9月12日(水)、第70回の記念開催となる中小企業団体全国大会へ、西部から10名、東部・中部も合わせて総勢30名で参加してきました。今年は京都市が会場で、世界遺産 二条城の近くにある上七軒歌舞練場、西陣織会館の2カ所で行われました。我々は西陣織会館へ入ったのですが、別会場で行われている式



典の様子をモニター越しに視聴した他、京都を代表する様々な物販や実演が行われており、全国から集まった多くの来場者で場内は埋め尽くされていました。また夜は場所を移して東部、中部の皆さんと一緒に合同懇親会を開催し、普段と違って遠方の地で時を共に過ごしたことで、より一層、懇親を深めることができました。

平日の週中での開催でありながら多くの方にご参加いただき、無事に終わることができました。お忙しい中ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。ちなみに来年は11月に鹿児島で開催されますので、皆さん機会がありましたら是非ご参加ください！  
(記事:堀尾)

### 「卒会者便り」

もうね、卒会しちゃうから言えるけど、入会して2年くらいは、委員会、例会共に行きたくはなかったね。

そもそも仕事以外は引きこもってゲームが友達という兼業自宅警備員だった自分からすれば青年中央会の活動は、月2回味わう異世界転生だったわけですよ。

今で例えるならMHWの極ベヒーモス戦でパンツ一枚で笛を持って参加するようなもんで浮いてないかドキドキですよ。それがね、それがですよ？今はどうかっていうと、これが不思議なもんで委員会や例会を楽しみにしている自分があるんですよ。人に対しての苦手意識が薄れ、より活動的になったと感じる。さらにそれが仕事にも活きてきている気がするんですわ。まあ、気がするだけなんだけどね。じゃあ、かつての自分から今の自分に変わる衝撃的な出会いとか出来ごとがあったのか、お前の頭上にもエクリプスメテオが降ってきたのかわかんねえよ

「特になんも無かったんですよ！何も！」

ただあったのは月2回の青年中央会の活動だったんですよ。それでもこの効果はすごいもんで、特段の積極性も無く、酒も飲めなかったのに参加するだけで、自分で意識しない内に変わっている、っていうより変えられちゃっている。思えば、そうしてくれたのは、共に同じ時間を生きた会員の皆さんだったんだと改めて思う次第。そしてそんな自分も誰かに影響を与えることが出来てこれていたならば幸いだと思ふ。

卒会しちゃうから言えるけど自分を作ってくれる時間がここにはあるよな。例え受け身でも。

From 生田育永 (米子ガス興業推進部 お客様センター長)

### 10月役員会報告

平成30年10月1日(月) 米子市公会堂 集会室1にて10月役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・9月例会開催の件
- ・10月例会開催の件
- ・会員拡大プロジェクトの件
- ・11月例会開催の件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

### 編集後記

ついに今号から始まった特集シリーズ「中央会スペシャル」。私のようにあまり詳しく会の事を知らない方や、会歴の浅い方にも読んで触れていただけたら嬉しい限りです。次回の中央会スペシャルも乞うご期待！ Check it out!

(広報委員会 青戸和功)